

令和3年度 実証試験委託業務の内容について

1 植生基盤評価を簡易に判定する手法の開発

- R2年度に検討した土壌評価及び簡易判定手法の精度向上を図るため、土壌の硬度及び透水性の追加調査を実施
- 開発した簡易判定手法に関する現地説明会の開催

2 土壌条件に適した植生導入手法の検討

- 下表の実証試験地における植生の生育状況の調査
- ドローンを活用した表土の土砂移動量の調査
- R2に道有林内で堆積土を整地し植栽した苗木の生育状況の調査
- ドローンを活用した播種試験
- 崩壊斜面の天然更新状況調査（簡易判定手法による土壌評価を含む。）

《令和元年度に設定した実証試験地の概要》

区 分		土壌評価			摘 要
		良	中	悪	
植栽試験区 (秋植え)	通常植栽	○	○	○	カラマツ、トドマツ、アカエゾマツ、ケマハソノキ、ミズナラの5樹種を植栽
	土壌改良A	○	○	○	// バーク堆肥
	土壌改良B	○	○	○	// バーク堆肥+発酵堆肥
	コンテナ苗	○	○	○	カラマツ、トドマツの2樹種を植栽
緑化試験区	緑化A	○	○	○	種子入り（牧草類種子を導入）
	緑化B	○	○	○	種子なし（自然散布種子を活用）
自然回復区		○	○	○	

《令和2年度に設定した実証試験地の概要》

区 分		土壌評価			摘 要
		良	中	悪	
植栽試験区 (春植え)	通常植栽	○	○	○	カラマツ、トドマツ、アカエゾマツの3樹種を植栽
	コンテナ苗	○	○	○	カラマツ、トドマツの2樹種を植栽
自然回復区		○	○	○	